そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は1年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では、18名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】

何かが起きることを前提とした危機管理

矢馳　一郎（創造）

その他のテーマ
- ▶東京五輪におけるテロ対策
- ▶学校安全に客観的な基準を
- ▶防災の知識を深める学習

◆テロ対策訓練の実施は

狭山市駅が東京五輪のゴルフ競技の輸送拠点として想定されていることは、当市の活性化の見地から大変素晴らしいことであるが、国際イベントには、テロのリスクが懸念され、対策が必要である。かねてより指摘しているが、あらためてテロ対策訓練の実施状況は。

入間市での国民保護訓練のようす

市民部長 毎年８月の総合防災訓練で、国民保護訓練に共通した安否確認や応急救護訓練を行っている。2020年に東京五輪・パラリンピックなどを控え、武力攻撃を想定した訓練の実施は必要と考える。他市を参考に来年度の実施に向け、関係機関などと調整を進めていく。

◆学校安全の認証制度を市の魅力に

文科省が推進しているセーフティプロモーションスクール(学校安全の認証制度)を取得し、実証的な学校安全の取組みを進め、学校安全を市のセールスポイントとしては。

総合政策部長 市の魅力の一つになりうると考え、今後シティープロモーション活動を推進する中で、教育委員会と連携を図り検討していく。

駅前商店街の機能を考えまちに明るさを！

西塚　和音（創造）

その他のテーマ
- ▶買い物難民を生まないために
- ▶リサイクルで新たな仕事を
- ▶ごみ発電などの活用は

◆商店街の機能とまちの明るさ

①駅前の商店街が存続するうえで必要なのは。
②商店街には点灯していない街路灯もあるが、まちの明るさについて安全面の考慮は。

環境経済部長 ①買い物だけでなく、見守りを含む地域コミュニティの場としての機能があり、生活するうえで重要な要素と認識している。

明るくきれいなトイレ

市民部長 ②夜間の犯罪抑止だけでなく、店舗の明かりや周辺環境を考慮しバランスよく配置することは重要と考える。夜間、歩行者が危険と感じられる箇所は、自治会から設置要望を受け、現場を確認して適正な箇所に防犯灯を設置しながら、明るさの確保に努めている。

◆公共施設のトイレ事情

学校のトイレの洋式化はなぜ遅いのか。

生涯学習部長 学校施設の改修は、安全確保のため、耐震化工事を最優先に実施し、学習環境の向上のための除湿温度保持工事も計画的に実施してきたために遅くなっている。学校施設の長寿命化を念頭に、今後、トイレの洋式化についても財政状況を見ながら実施していきたい。

元気プラザを安心して活用するために！

中村　正義（はつらつ）

その他のテーマ
- ▶災害時マニュアル早期作成を
- ▶市長の裁量権で使用許可を
- ▶Ｃ８号線の速やかな進捗を

◆元気プラザの安全確保について！

市民部次長兼協働自治推進課長は、元気プラザに非常駐であるが、同所長も兼ね自衛消防隊隊長でもある。災害時の指揮命令系統が機能するか心配である。専任の担当課長と職員を配置すべきではないか。

市長 さやま市民大学開設に併せて26年４月から事業運営をＮＰＯ法人に委託し、施設管理担当職員１名を配置している。施設全体の利用者も増えているため、今後の状況や職員の定員適正化も踏まえ、28年度中に検討していきたい。

◆道路インフラ整備で地域の活性化を！

市道幹第34号線(新狭山公園東側の道路)延伸事業は商工業の発展、農業の６次産業化など新たな事業展開が期待できると思うが、見解は。

環境経済部長 市道幹第34号線延伸整備は、６次産業化商品の直売所など沿道サービスの展開が期待されるが、道路整備で農地が分断されたり区画が不整形になるなど、農業経営への影響も予想される。農家の意向を十分に尊重することが重要なので、庁内で協議していく。

すべての児童が健全に成長できる狭山に

大島　政教（はつらつ）

その他のテーマ
- ▶ふるさと納税
- ▶入曽駅前整備

◆３歳女児死亡事件と児童虐待

①３歳の女の子がたびたび号泣し、住民からの繰り返しての通報が、なぜ、児童福祉のネットにかからなかったのか。狭山警察署が通報で女児宅を訪問後、狭山市か所沢児童相談所に連絡があってしかるべきと考えるが。
②未受診が継続していることへの市としての認識、指導はどのようなものだったのか。

市長 ①通常は要保護児童対策地域協議会で児童相談所や警察などの機関と連携し情報共有が行われるが、今回は警察の判断で市に情報提供がなく、仮に情報提供されていたら相談支援につながる可能性もあったのではと考える。現在、児童相談所・警察・市で情報提供のあり方の協議を進めており、一層の情報共有を図っていく。

長寿健康部長 ②未受診理由が「忙しさ」「車がなく行きづらい」で、親としての意識が低い家庭と認識していたが、祖母と同居し生活全般の支援を受けていたことや子ども達の正常な発育状況から、訪問時点では養育に問題はないと判断していた。発育発達の情報提供や受診勧奨を、訪問や予防接種時に繰り返し指導していた。

乳幼児が健やかに育つ施策の充実を

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧になれない方には、ＦＡＸまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。☎04-2953-1111 内線3313